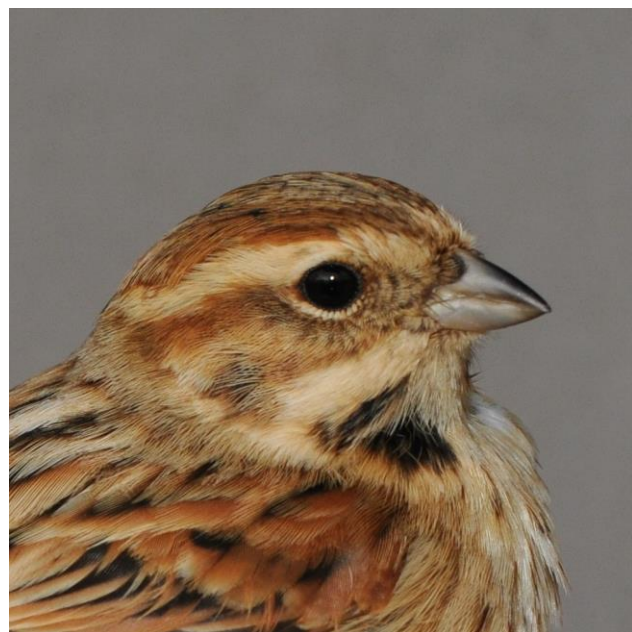


【12月のテーマ】 ホオジロたちの暮らしかた

案内人：小田谷嘉弥（鳥の博物館学芸員）



▲ホオジロ(左)とオオジュリン(右)の頭部。ともに短くて太いくちばしを持っているが、オオジュリンのほうがかくちばしに丸みがあり、噛む力が強い。

ホオジロは手賀沼の周辺で一年中見られるスズメ目の小鳥で、千葉県にも指定されている身近な鳥の一つです。秋になると、同じホオジロ科のオオジュリン、アオジ、カシラダカなどの小鳥たちが越冬のためにやってきます。種によって異なる彼らの冬の暮らしかたを観察してみましょう。

2022年12月10日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

ホオジロたちの冬の暮らし

同じように見えるホオジロの仲間も、種によって好む環境や食物が異なっています。ここでは、てがたんコースでよく見られるホオジロ類4種の、冬に好む環境、食物、鳴き声の違いを比べてみましょう。



オオジュリン

好む環境：沼沿いのヨシ原

好む食物：昆虫、草の種

鳴き声：チュイーン



カシラダカ

好む環境：農地や休耕田

好む食物：草の種

鳴き声：チュ、チュ



ホオジロ

好む環境：沼沿いの草地や林

好む食物：草の種

鳴き声：チチッ、チチチッ



アオジ

好む環境：やぶや斜面林

好む食物：草の種

鳴き声：チッ、チッ